

【3】 のばす音 の学習

のばす音は正式には長音と呼びます。カタカナで書く場合は長音記号（のばしぼう〈ー〉）があるので、簡単に書き表すことができるのですが、「ひらがなでは長音記号は使わない」というルールがあるために子どもたちは苦しみます。「おとーさん」は「おとおさん？」「おとうさん？」「とけー」は「とけえ？」「とけい？」

のばす音の表記についてはとても奥が深くて、難しいんです。（例えば旧仮名遣いに関係してきたり、「とけい」はそもそも長音なのか！？という疑問がでてきたりします）

そして「大人の私だって間違えることがあるんだから、小学校1年生に教えるのは難しすぎる。そんなの大体教えたことにしておけばいい」な〜んていう意見に出会ったりします。僕は、是非大切に教えてほしいと思います。なぜなら、長音の指導は、母音感覚を養うのにぴったりの指導だからです。100%正解できるようになる必要はありませんが、音がのびていることを感じたり表現できる力を育む。そして母音を感じる力を育むことはとても大切です。なにより、今回紹介するモンスター式長音指導なら、きっとたのしく取り組んでくれるはずです。やってみてください。

・教科書では「のばす音」ということで「あいうえお」のすべての長音を同時に教えようとします。しかしあれはあまりに難しい。まずは「あいう」の長音をしっかり見つけられるようになる練習に取り組みましょう。そのあとで「え」。次に「お」。一歩ずつ段階を踏んで。

・「教える→わかる」ではなく「続ける→なれる」ものだと考えて。気長に、楽しく関わり続けられるのが大切です。右に紹介するモンスターを、教室に掲示しておいて、「わからなかったらいつもそこにいけばいい」「毎回同じやり方で考えられる」を続けることが大切です

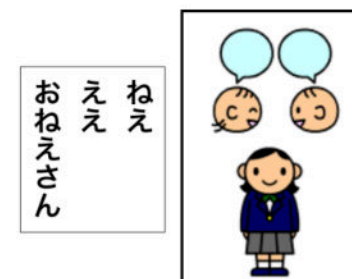
【モンスター式長音指導の準備】

データCDより印刷。B4サイズのホワイトボード（ダイソーで200円）に下のように貼り付けて、いつも教室に飾っておくようにする。

《モンスターなど、すべてCDデータに収録》



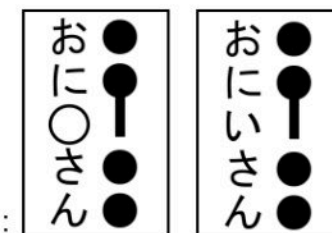
《CDデータ》から「長音ルール」をプリントアウトする。イラスト版と文字版を合わせてラミネート、文字とイラストが裏表になるようにしておくで便利。初めは文字版で、なれてくるとイラスト版を見て自分で思い出せるようにしていく。



おもて

うら

《CDデータ》から「長音もんだい」と「長音こたえ」をプリントアウトする。2まいを合わせてラミネート、答えと問題が裏表になるようにしておくで使いやすい。また、もんだいは「レベル1：長音〈あいう〉」「レベル2：長音〈え〉」「レベル3：長音〈お〉」とレベル別にわけておくで便利。



おもて

うら

【レベル1 のばす音〈あ・い・う〉】

①「のばす音の勉強をします。敵が出てくるので、みんなで力を合わせて倒していこう！まずはレベル1の敵。じゃじゃ〜ん！」といって右のイラストをはる。



②「彼らの名前は〈あいう〜仮面〉。悪の組織からやってきた超悪いやつらだ。彼らの合言葉は〈イー〉」（ショッカー風に、右手を胸の前に構えて、〈イー〉といいながらイラストのように上にあげる。照れないように（笑）仮面ライダーなんて知らない子どもたちもけっこう付き合ってくれますので）みんなでやってみよう！「イーー！！」

③のばす音のルールの確認！〈あ・い・う〉の口の時はレベル1。レベル1の時は「そのまま」って覚えてね。だから〈あー〉の時は〈あ〉。〈いー〉の時は〈い〉。〈うー〉の時は〈う〉です。

④（もんだいをみながら）

これは何て読むかわかる？〈に〉をのばして読むので、「おにーさん」だね。みんなで、大きな口で言ってみよう。



⑤音がのびているところの口の形は〈あ・い・う・え・お〉のどれだった？伸びているところの口の形ね。もう一回言ってみよう！

「おじーさん」←動作化しながら。のばす所を強調して確認

⑦〈い〉だったね。〈い〉のときは〈い〉。「そのまま」だからね。
(答えを見せて確認)

〈お・に・い・さ・ん〉と書いて読む時は〈おにーさん〉とのばします。

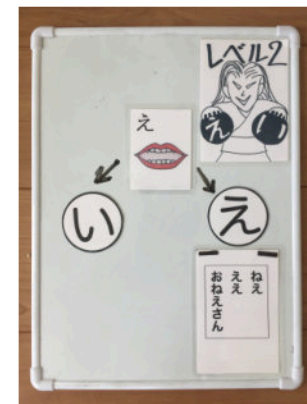
⑧同様に、〈あ〉や〈う〉でも練習。何問か確認したら、みんなで声を

合わせて、モンスターに「どうだー！」と聞く。先生は再びモンスター役になって「や・ら・れ・た〜〜」と言いながら、床に倒れこむなど大きさにやられてください。

⑨一通り指導が終わったら、「マッチングカードのばす音①」でたっぷりあそぶ！！（P11で紹介しています）

【レベル2 のばす音〈え〉の指導】

①「今日はレベル2の敵。レベル2の敵はつよいよ〜。じゃじゃ〜ん！」といってモンスターを紹介。

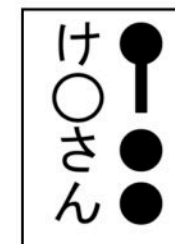


②「彼女の名前は〈えい〜姫〉。えい〜姫はね、「ひっひっひ〜」と笑う。こわいよ〜。みんなでやってみよう。「ひっひっひ〜」

③のばす音のルールの確認！〈え〉の口はレベル2です。レベル2は難しいよ。のばしている時の口が〈え〉の時は〈え〉か〈い〉が入ります。「ねえ・ええ・おねえさん」の時は〈え〉が入る。その他の時は「い」が入る。やってみよう！

④（もんだいをみながら）

これは何て読むかわかる？〈け〉をのばして読むので「けーさん」だね。みんなで言ってみよう！



⑤音がのびているところの口の形は〈あ・い・う・え・お〉のどれだった？「けーさん」←動作化しながら口の形を強調

⑦〈え〉の口だったね。〈え〉のときは〈え〉か〈い〉。「ねえ・ええ・おねえさん」に入っていないので〈い〉。(答えを見せる)
〈け・い・さ・ん〉と書いて読む時は〈けーさん〉とのぼします。

⑧同様に、〈え〉が入る「おねえさん」でも練習。「ねえ」とか「ええ」はあまり使われないので、軽く確認しておくくらいで良い。何問か確認したら、みんなで「どうだー！」のかけ声。モンスターは「や・ら・れ・た〜〜〜」と。このやり取り、必ず飛ばさないように。お願いします。

【レベル3 のぼす音〈お〉の指導】

①「今日はレベル3。いよいよラスボスです。相当強いので負けないようにね！じゃじゃ〜ん！」といって敵を紹介。

②「彼の名前は〈おう〜大佐〉。おう〜大佐はね、強うそうに、悪そうに笑う。
「がっはっは〜！」とね。みんなでやってみよう。



③のぼす音のルールの確認！〈お〉の口の時はレベル3。レベル3は超難しいよ。のぼしている時の口が〈お〉の時は〈お〉か〈う〉が入ります。「とおく・おおきい・こおり・おおい・おおかみ・とお・とおる」の時は〈お〉が入る。その他の時は「う」が入る。

※この時、10のことを「とお」と言うことや、「おおい」「とおる」など、ことばのイメージが難しい子もいますので、一つずつ丁寧に確認することを大切にしてください。

④のぼす〈お〉のルールは、覚えるのが大変なので歌にして覚えましょう！（森のくまさんのメロディで）

♪とおくの おおきな こおりの うえ〜を♪
♪とおくの おお〜かみ〜 とおずつ とおった〜♪

⑤では、みんな、「おう〜大佐に負けずに、がんばるぞ！」（もんだいをみせながら）
〈お〉をのぼして読むので「おーかみ」だね。みんなで言ってみよう。



⑤音がのびているところの口の形は〈あ・い・う・え・お〉のどれだった？「おー——かみ」←動作化しながら口を強調

⑦〈お〉の口だったね。〈お〉のときは〈お〉か〈う〉。「のぼす〈お〉のルールの歌」を歌ってみよう！

♪とおくの おおきな こおりの うえ〜を♪
♪とおくの おお〜かみ〜 とおずつ とおった〜♪

⑧どうだった？「おーかみ」。歌に？入ってたね！入っている時は〈お〉

⑨同様に、いろいろな問題に取り組んでください。のぼす〈お〉は本当に難しいです。例えば「とおる」と「とおった」は、形は違うけれど、どちらも〈お〉と判断することや、「おおだいこ」は歌にはないけれど、「大きい たいこ」だから〈お〉、「おおさか」も〈大きい〉という漢字なので〈お〉などは慣れてきたら教えてあげるとよいです。「ほおずき」など、使用頻度が低いので歌に入っていないものもあります。

完璧を目指すと難しいです。歌を歌ったり、母音を見つけたりといった活動に楽しく取り組んでくれるのを一番の目標に。「今日ものぼす音の勉強するよ」と誘うよりも「今日もモンスター倒そうか？」と誘う方が楽しく取り組んでくれるかな？楽しさを第一に、活用してください。